

(別紙4(2))

社会福祉法人 南有会
事業所名: グループホーム 望

目標達成計画

作成日: 平成 28 年 1 月 6 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	現在各居室での死角が多い為、日中もセンサーによる行動把握を行っているので、入居者の状態に応じ減らしていく取組をお願いします。	昼間のセンサー(居室)を3つ減らす。	昼間、リビングでできる事への支援をしながら見守りをする。また、外出やレクリエーション等を取入れ職員と行動を共にしてもらう。	6 ヶ月
2	33	高齢化に伴い、今後の見通しも考慮して家族の希望に沿う支援が出来るよう関係機関との協力体制を整えると共に書類の準備や職員への研修等の実施を期待します。	看取りへ向けて職員の研修を行う。	テーマを決めてホーム内での勉強会を行う。 ①看取りとは？ ②看取りに必要な知識(バイタル観察・記録) ③家族との連絡調整 ④死後の処置・見送り ⑤書類の作成(看取り用)	6 ヶ月
3	35	前回受審より非常時における備蓄品を確保し、全職員が周知するよう改善に取り組んでいる。また、個人情報ファイルを作成し、入退去時に更新するよう努めている。避難訓練は消防署の協力の下、実施しているが、職員が体得できるよう自主訓練を実施し、消防団や地域住民の参加を促すことで協力体制を構築するようお願いします。	職員用の備蓄品の補充	ペットボトル入り水2ケース追加 カップラーメン2ケース追加	2 ヶ月
			自主訓練を実施する。	消防訓練計画書を作成し、実施する。また、実施記録を残す。	12 ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。